

UTSUNOMIYA CONSTRUCTION WORKER'S

つ 世 け 宮 都 宇

CONSTRUCTION

vol. **306**

2016

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一 様



『〇〇〇〇〇〇』

(株)テツカ産業 手塚 誠 様 写真提供



一般社団法人 宇都宮建設業協会



新年度に向けて

一般社団法人 宇都宮建設業協会
会長 増 渕 薫

建設業界は、個人消費や民間投資の回復の遅れなど日本経済が一進一退を続ける中、建設投資等の減少による競争の激化といった建設産業界特有の構造的な問題に直面し、公共事業に大きく依存している地方の中小建設業は、極めて厳しい企業経営を強いられております。

一方、日本は世界でも稀に見る自然災害の多い国であります。5年前、東北で起きた大震災に続いて熊本県熊本地方を震央とする震度7の大地震が発生し、甚大な被害とともに現在も余震に怯えながら多くの方々が、今なお不自由な避難生活を送られております。

そして、比較的災害が少ない地域とされてきた本県においても、昨年9月の「関東・東北豪雨」では記録的な豪雨に見舞われ、大小河川の氾濫により甚大な被害が発生するなど、自然災害の猛威を身を以て知らされたところであり、県民や市民の安全・安心な暮らしを守るため、社会資本の整備・保全是、片時の猶予も許されない状況にあると思っております。

建設業は、災害時の緊急対応や除雪作業など、地域住民の安全・安心を守るため、欠かすことのできない大きな社会的役割を担い、地域にとってなくては

ならない存在であります。しかし、地方の建設業が社会資本の整備や維持管理の担い手として、多発する自然災害の対応など社会的貢献を果たしていくためには、業として適正な利潤が得られる経営基盤の安定化が必要であり、安定的・持続的な事業量の確保に向けて声を上げていく必要があると考えております。

また、品確法、入契法、建設業法のいわゆる「担い手三法」が平成26年6月に改正・施行され、昨年4月からは、発注者の責務を明確にした新たな運用指針（発注者共通ルール）の適用が開始され1年を経過したところであります。今後、適正な運用に期待をするとともに、法改正の趣旨を踏まえた入札契約制度等のさらなる改善を、発注関係当局へ要望していく所存であります。

建設業界は、建設投資の縮小や深刻な人手不足等、日本経済の低迷とともに益々厳しくなることが予想されるではありますが、雇用や地域経済を支える基幹産業であるとともに、災害時の活動をはじめ安全・安心な地域づくりの担い手として、地域に根差した諸活動に積極的に取り組んでまいり所存でありますので、会員各位の一層の御支援・御協力をお願い申し上げ挨拶いたします。

平成28年度 通常総会

2016.5.17(火)

【建設業は地域住民の安全を守るために欠かすことのできない存在】

5月17日、栃木県建設産業会館にて宇都宮建設業協会の平成28年度通常総会が開催されました。

当日は委任状を含め59名の会員の出席のもと、平成28年度の事業計画案や役員人事の決議、また併せて永年勤続役員及び委員の表彰が行われました。

総会に先立ち、増渕会長から熊本地震や昨年の関東・東北豪雨の話も交え「建設業は地域住民の安全を守るために欠かすことのできない存在。また、社会貢献を果たしていくために経営基盤の安定化と適正な利潤の確保を求めていく。」との挨拶がありました。

議事では平成28年度の事業計画が承認され、任期満了に伴う役員改選では増渕会長ら執行部の留任と新たな理事4名と監事2名が選出されました。



さらに、永年勤続役員及び勤続委員の表彰では、役員・委員合わせて9名の方々が表彰され、増渕会長より表彰状と記念品が手渡されました。

新役員 一般社団法人 宇都宮建設業協会

会 長 増渕 薫 (株)暁工務店

副 会 長 菊池三紀男 (株)菊地組
竹内 智祐 (栃舗建設工業(株))
野澤 充広 (株)野澤實業

常務理事 河上 和裕 (事務局)

理 事	長嶋 俊 (株)長嶋組	亀和田 薫 (米弥工業(株))	柴田 恒男 (柴田建設(株))
	上野 勝弘 (上陽工業(株))	末長 修一 (末長建設(株))	荒井 学 (宇都宮土建工業(株))
	櫻井 英治 (株)新生工業	轟 久敬 (日豊工業(株))	岩原 正樹 (岩原産業(株))
	高田 浩行 (株)高田組	小川 真一 (株)小川組	渡邊 幸雄 (中村土建(株))
	増渕 勝明 (株)増渕組	増子 四郎 (事務局)	

監 事 荒井 恭一 (株)丸あ組 片嶋 常隆 (片島建設工業(株)) 丸山 毅 (顧問税理士)



▲執行部の再任が決まる

永年勤続表彰



▲永年勤続役員20年表彰を受ける中島 理氏

表彰者

永年勤続役員20年	中島 理氏 (ミユキ建設(株))
15年	柴田 恒男氏 (柴田建設(株))
10年	菊池三紀男氏 (株)菊地組
10年	上野 勝弘氏 (上陽工業(株))
永年勤続委員20年	荒井 恭一氏 (株)丸あ組
10年	佐々木 隆氏 (株)カクタ技建
10年	阿久津 信一氏 (晋豊建設(株))
10年	田仲 重啓氏 (株)元重建設
10年	菊池 祥一氏 (山本建設(株))

おめでとうございます

REPORT

| 青年の会 活動報告 |

通常総会

2016.6.2 木

平成28年6月2日(木)、ホテルニューイタヤにおいて宇都宮建設業青年の会の平成28年度通常総会が開かれた。

はじめに鹿野雄久会長〈鹿野建設㈱〉より、昨年9月の豪雨災害では、多くの会員の力を借りて災害復旧に当たったと会員の支えに感謝の気持ちを表し議事に入った。

平成27年度事業経過報告ならびに収支決算報告、および平成28年度事業計画ならびに収支予算が原案どおり可決され、続く役員改選では、鹿野雄久会長の再選が満場一致で承認された。鹿野会長は「我々は力を合わせ、会員企業の発展とともに青年の会の活動強化に取り組んでいく。また、新委員会を設置して親会とは違った視点での活動を模索し、青年の会の存在意義をアピールする」と抱負を述べた。

(佐々木)



力強くあいさつする鹿野会長

〔主な事業計画〕

- ① 宇都宮城址まつりへの参加・協力
- ② 宇都宮マラソン大会への協力
- ③ 会員相互の親睦事業
- ④ その他（献血活動など）



幹事 庭野 宏隆 (株)庭野建設

会計 増渕 勝明 (株)増渕組

副会長 入江 誠 (大幹建設(株))

幹事 入江 克拓 (株)入江組

会長 鹿野 雄久 (鹿野建設(株))

幹事 菊池 祥一 (山本建設(株))

副会長 渡邊 幸雄 (中村土建(株))

幹事 田仲 重啓 (株)元重建設

副会長 原 賢一郎 (アズマ原総業(株))

会計 津野田 哲 (株)津野田土木

幹事長 野中伸之助 (野中建設(株))

「委員会組織 及び 主な活動内容」

協組促進委員会



協組促進委員会は、共同受注の促進及び会員拡大などの活動に取り組んでいます。

担当会長	増 淵	薫 (株)	暁 工 務 店
委員長	上 野 勝 弘	上 陽 工 業 (株)	
副委員長	渡 辺 眞 幸	渡 辺 建 設 (株)	
委 員	渡 邊 幸 雄	中 村 土 建 (株)	
	亀 和 田 守 和	晃 建 設 (株)	
	熊 本 正 治	(株) 熊 本 商 店	
	鹿 野 雄 久	鹿 野 建 設 (株)	
	庭 野 宏 隆	(株) 庭 野 建 設	

総務委員会



総務委員会は、広報誌の編集・発刊、高校生のインターンシップ受入対応、会員交流事業などの活動に取り組んでいます。

担当副会長	菊 池 三 紀 男	(株) 菊 池 組	
委員長	荒 井 学	宇 都 宮 土 建 工 業 (株)	
副委員長	岩 原 正 樹	岩 原 産 業 (株)	
委 員	手 塚 誠	(株) テ ツ カ 産 業	
	高 田 浩 行	(株) 高 田 組	
	石 黒 靖 規	小 平 興 業 (株)	
	荒 井 規 雄	キ ヨ ウ セ イ (株)	
	矢 田 芳 充	矢 田 建 設 (株)	
	船 見 佳 正	三 正 建 設 (株)	
	津 野 田 哲	(株) 津 野 田 土 木	
	古 橋 和 樹	古 橋 土 建 (株)	

建設委員会



建設委員会は、災害時の緊急対応、河川・道路清掃（愛リバーなど）、防災・水防訓練などの活動に取り組んでいます。

担当副会長	野 澤 充 広	(株) 野 澤 實 業	
委員長	末 長 修 一	末 長 建 設 (株)	
副委員長	関 明 彦	芳 賀 屋 建 設 (株)	
委 員	入 江 誠	大 幹 建 設 (株)	
	増 淵 勝 明	(株) 増 淵 組	
	神 戸 伸 房	(株) 神 戸 組	
	清 永 幸 伸	(株) 興 建 業	
	零 謙 一	(株) 美 雪 興 業	
	佐々木 隆	(株) カ ク タ 技 建	
	若 林 昌 幸	(有) 若 林 造 園 土 木	
	原 賢 一 郎	ア ズ マ 原 総 業 (株)	
	渡 邊 剛 紀	陽 西 建 設 (株)	
	亀 和 田 辰	米 弥 工 業 (株)	

安全委員会



安全委員会は、公開・非公開パトロールの実施、各種安全セミナーの開催、建災防協力事業などの活動に取り組んでいます。

担当副会長	竹 内 智 祐	栃 舗 建 設 工 業 (株)	
委員長	轟 久 敬	日 豊 工 業 (株)	
副委員長	櫻 井 英 治	(株) 新 生 工 業	
委 員	阿久津 信 一	晋 豊 建 設 (株)	
	小 川 真 一	(株) 小 川 組	
	鈴 木 隆 之	岩 村 建 設 (株)	
	吉 沼 弘 之	(株) 神 吉 工 業	
	千 葉 貢 義	(株) 千 葉 建 設	
	野 中 伸 之 助	野 中 建 設 (株)	
	入 江 克 拓	(株) 入 江 組	
	田 仲 重 啓	(株) 元 重 建 設	
	大 槌 一 浩	八 幡 建 設 (株)	
	菊 池 祥 一	山 本 建 設 (株)	

新任挨拶



「交通未来都市 うつのみや」の実現を目指して

宇都宮市副市長 吉田 信博

この度、宇都宮市副市長に就任しました吉田でございます。
宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より、本市の発展と市政運営に格別の御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私自身も、本市のまちづくりに誠心誠意取り組む所存でありますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年9月の「関東・東北豪雨」では、本市においても多大な被害が発生いたしました。また、本年4月には「熊本地震」が発生し、熊本県を中心に広範囲にわたって甚大な被害が発生したところであり、自然災害の恐ろしさを改めて痛感したところであります。

こうした中、本市におきましても、市民の誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを最優先課題として掲げ、公共建築物や道路、橋梁などの防災対策や耐震化を実施するとともに、都市基盤整備の更なる推進に努めてまいります。

また、日本初の全線新設による「LRT」の整備につきましては、5月に都市計画決定をしたところであり、いよいよ本年度中の工事着手を目指すほか、「（仮称）大谷スマートインターチェンジ」については、平成30年度の工事着工に向けて測量・設計に取り組むなど、誰もが移動しやすい「交通未来都市 うつのみや」の実現を目指してまいります。

協会の皆様には本市のまちづくりの実現や災害時の緊急対応等において御尽力いただいておりますことから、今後とも、なお一層本市のまちづくりに対し、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御活躍を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



上下水道サービスのより一層の向上を

宇都宮市上下水道事業管理者 桜井 鉄也

「けんせつ宇都宮」の発刊にあたり、一言で挨拶を申し上げます。この4月に宇都宮市上下水道事業管理者に就任いたしました桜井でございます。宇都宮建設業協会並びに協会の皆様には、日頃より本市水道事業及び下水道事業に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、おかげ様で、本市水道事業は平成28年3月に通水開始から100周年、下水道事業は平成27年8月に処理開始から50周年という大きな節目の年を迎えることができました。

このような中、これまで整備してきた浄水場や水再生センターなどの基幹施設をはじめ、多くの施設が老朽化しており、今後は、限られた収入の中で、効果的かつ効率的で災害や事故に強い施設の維持・更新を行っていく必要があります。

このような状況を踏まえ、平成27年度には、「水道施設再構築基本構想」、「下河原水再生センター再構築基本計画」を策定したところであり、これからの100年も、市民の皆様安心して暮らして頂くためのライフラインとしての役割を持続的かつ着実に果たし、上下水道サービスのより一層の向上に取り組んでまいりますので、今後とも、貴協会のご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、貴協会の益々の発展と会員の皆様の更なるご活躍をご祈念申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



「地域経済の活性化に向けて」

宇都宮市経済部長 矢古宇 克

この度、宇都宮市経済部長に就任いたしました矢古宇でございます。

宇都宮建設業協会会員の皆様には、日頃より、本市のまちづくりに特段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、経済部におきましては、TPP交渉の大筋合意による経済活動のグローバル化のさらなる加速や人口減少の局面を迎える中での都市間競争の激化など社会経済状況がめまぐるしく変化していく中、本市が将来にわたり持続的に発展していくため、イノベーションが期待される産業の育成や企業立地・定着の促進、本市の地域資源などを活用した国内外からの誘客促進、農業生産の収益性の向上や農産物の消費拡大などに取り組んでいるところであります。今後とも、商業、工業、観光、農業の各分野の競争力を高め、本市経済のさらなる活性化を図ってまいりたいと考えておりますので、引き続き、貴協会のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会の益々の発展と会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、就任のあいさつとさせていただきます。

新任挨拶



持続的な発展が可能な都市を目指して

宇都宮市建設部長 田 辺 義 博

この度、宇都宮市建設部長に就任しました田辺でございます。
宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より、本市の建設行政に特段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、建設部におきましては、本市が目指す「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に向け、「新交通システム（LRT）の整備をはじめとした公共交通ネットワークの充実」や「市民生活や都市活動を支えるための道路ネットワークの形成」、「市民の誰もが自転車を安全で快適に利用できる自転車走行空間の整備」、「安全性・信頼性を確保するための公共建築物や橋梁などの耐震化や長寿命化の推進」などに取り組むことにより、都市基盤の機能と質を高め、持続的な発展が可能な都市を目指しているところであります。

今年度は、LRTの整備を推進するとともに、LRTを活用した「街づくりの検討」、（仮称）大谷スマートICの整備に向けた調査の実施、幹線道路や通学の安全性も考慮した生活道路の整備、公共建築物の安全性を確保するための天井落下対策や建物の外壁診断の実施など都市基盤の整備を推進し、市民の皆様が快適で安心・安全な暮らしができる環境の整備を進めているところでありますので、今後とも、貴協会のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会の益々の発展と会員の皆様のご活躍をご祈念申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



宇都宮市が目指す将来の姿「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向けて

宇都宮市都市整備部長 福 原 悟

この度、宇都宮市都市整備部長に就任しました福原でございます。
宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より、本市のまちづくりに特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、都市整備部におきましては、今後直面する少子・超高齢化、人口減少社会においても、本市が持続的に発展できる「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向け、「地域特性に応じた土地利用の推進」や「魅力ある拠点の形成」、「安全で快適な市街地の形成」などに取り組むことにより、機能的で魅力のある都市空間の形成を進めているところであります。

今年度は、公共交通ネットワークの構築と連携を図りながら、都市拠点や地域拠点などにおいて居住や医療・福祉、商業など市民の生活を支える都市機能の誘導を図る「立地適正化計画」の策定を進めるとともに、中心市街地の賑わいと活力向上を図る「大手地区市街地再開発事業」や、東西自由通路・駅前広場など交通結節機能の強化を図る「岡本駅周辺整備事業」、更には防災性や利便性の高い居住環境の形成を図る宇都宮大東南部第1、第2地区や鶴田第2地区など5地区の「土地区画整理事業」等を着実に推進していくことにより、市民の皆様が将来にわたり身近な場所で安心して快適な生活を送ることができる環境の実現に向け、引き続き取り組んでまいりますので、今後とも、貴協会のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会の益々の発展と会員皆様のご活躍を祈念いたしまして就任の挨拶とさせていただきます。



適正な施工と品質の確保に向けて

宇都宮市検査室長 星 野 克 美

この度の定期異動によりまして、検査室長に就任いたしました星野でございます。着任にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より本市の建設行政へのご理解を頂き、また、昨年9月「関東・東北豪雨」の災害に対しましても特段のご高配を賜りましたことをこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

現在の建設行政につきましては、防災・減災・復興事業や老朽化対策、耐震化など幅広い維持管理が生じており、維持管理工事も増加しており、工事の適正な施工の必要性が高まり、建設工事の適正な施工と品質の確保が重要となっております。

今後は、健全な建設行政の充実を図るためにも宇都宮建設業協会の皆様と本市がお互いに連携を深め、適正な施工と品質の確保を目指す関係を構築できますようお願い申し上げ、新任の挨拶と代えさせていただきます。



一般社団法人 宇都宮建設業協会

会 長 増 淵 薫 副会長 菊池 三紀男 竹内 智祐 野澤 充広

(株) 暁 工 務 店
(株) アズマ原総業
(株) イケダ工務店
(株) イナミ工業
(株) 入江組
(株) 岩原産業
(株) 岩村建設
(株) 宇都宮土建工業
(株) 馬上建設
(株) 王子工営関東
(株) 小川組
(株) カクタ技建
(株) 梶並建設
(株) 上島建設工業
(株) 上河内建設
(株) 神吉工業
(株) 神戸組
(株) 菊一建設
(株) 菊地組

キ ョ ウ セ イ (株)
(株) 熊本商店建
(株) 熊興業建設
(株) 小平興業建設
(株) 三正建設
(株) 鹿野建設
(株) 柴田建設
(株) 柴田工業
(株) 新生工業
(株) 晋豊建設
(株) 上陽工業
(株) 末長建設
(株) 成常建設
(株) 大幹建設
(株) 泰和工業
(株) 高田組
(有) 田重建設
(有) 大安工業
(有) 大晃建設

(株) 千葉建設
(株) 津野田土木
(株) テツカ産業
(株) 栃舗建設工業
(株) 直井工務店
(株) 中村土建
(株) 長嶋組
(株) 日豊工業
(株) 庭野建設
(株) 野澤實業
(株) 野中建設
(株) 芳賀屋建設
(株) 福原建設
(株) 藤井産業
(株) 藤井土建
(株) 古橋土建
(株) 星野組
(株) 堀江ソーケン
(株) 増淵組

(株) 鱒 淵 建 設
(株) 丸 山 工 業 (株)
(株) ミ ユ キ 建 設 (株)
(株) 美 雪 興 業 (株)
(株) 睦 工 業 (株)
(株) 元 重 建 設 (株)
(株) 矢 田 建 設 (株)
(株) 八 幡 建 設 (株)
(株) 山 口 組 (株)
(株) 山 本 建 設 (株)
(株) 陽 西 建 設 (株)
(株) 横 山 建 設 (株)
(株) 米 弥 工 業 (株)
(有) 若 林 造 園 土 木 (株)
(有) 和 晃 建 設 (株)
(有) 渡 辺 建 設 (株)

永きにわたる功労に対して表彰される

宇都宮市は去る6月4日、水道100周年・下水道50周年を祝い、宇都宮市役所で記念式典を開催した。

(一社)宇都宮建設業協会は永きにわたる上下水道事業功労者として、宇都宮市より表彰を受けた。

佐藤市長は、「宇都宮市の水道普及率は98%、下水道普及率も84%超となり、多くの市民が快適な生活環境に満足している。上下水道は『建設拡張』から『維持・管理・更新』の時代へと転換を図り、『100年繁栄都市うつのみや』の実現に向け全力で取り組む」と抱負と展望を述べた。

(一社)宇都宮建設業協会も今後とも宇都宮市の上下水道事業の発展に寄与していきたいと協力を惜しまない決意を新たにしました。



▲表彰される増淵 薫 会長

編集後記

2014年10月、宇建協研修旅行は熊本だった。御嶽山が噴火して間もない頃のせいか、時を同じくして噴火の予兆があった阿蘇山について、私は、当時の編集後記に「白煙を纏った阿蘇に生命を感じた。地球があたかも生き物のように感じた。」と記していた。人の力も及ばない強大な自然の力と驚異を感じていた。

その熊本での今回の大震災。とうとう大地が動き、人々に甚大な被害を与えてしまった。

今まで大丈夫と高を括っていた地震が怖くなってきた。しかし、これが正しい感覚なのだろう。故に先人たちは自然に感謝しながらも恐れ神仏化し崇めてきたのだ。

株や経済も大事だが、自然の変化に鈍感になってはいないか？自然への感謝を忘れていないか？自然に逆らっ

ていないか？色々と考えさせられる。

国が争い、人が戦い、改革、変革、IT化、ポピュリズム・・・地球からすれば、我々の生きる様は表面的で滑稽なことだろう。地球は我々のことなど気にせず、何十億年という大きな時の中で変わらずに破壊と再生を繰り返して生きている。地球の皮膚上にいる我々は、言わば常在菌のような存在か？我々が騒いでも痒いくらいのことではかない。しかし、痒いと掻かれたり叩かれたりする。地球を怒らせずに永く住まわせて貰うには、謙虚に慎ましくダーウィンが唱えたように自然に併せて小さな進化を続けて行くしかあるまい。会社や組織にも当てはまる。

(荒井 学)

けんせつ
宇 都 宮

■1981年7月創刊
■2016年6月23日発行
■発 行：一般社団法人宇都宮建設業協会
■会 長：増淵 薫

■編 集：総務委員長 荒井 学
■TEL：028-636-5221
■URL：http://www.ukenkyo.org/
■E-mail：ukenkyo@ukenkyo.org

■印刷所：藤崎印刷株式会社
■TEL：028-633-4530
■E-mail：info@fujisaki-p.jp

